
プログラム

プログラム

[2026年3月6日(金)]

第1会場

9:10-10:10

基調講演

座長：松下 隆（福島県立医科大学外傷学講座・新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター）

1-KL 小児整形外科における創外固定・骨延長の役割

川端 秀彦（南大阪小児リハビリテーション病院整形外科）

10:20-11:20

古墳セミナー①

座長：前川 尚宜（奈良県立医科大学整形外科）

1-KS-1 手指外傷に対するマイクロサージャリーを用いた治療

矢野 公一（清恵会病院整形外科）

11:30-12:30

古墳セミナー②

座長：高橋 謙治（京都府立医科大学大学院医学系研究科運動器機能再生外科学（整形外科））

1-KS-2 股関節外傷後の機能再建に向けた治療戦略

後藤 公志（近畿大学整形外科）

14:00-14:30

開会挨拶・総会

14:40-15:40

古墳セミナー③

座長：田村 太資（大阪母子医療センター）

1-KS-3 四肢外傷のリハビリテーション治療

佐浦 隆一（大阪医科大学医学部総合医学講座リハビリテーション医学教室）

15:50-17:10

パネルディスカッション① 創外固定症例の看護の問題点

座長：日南川 喜恵（堺市立総合医療センター）

1-PD-1-1 脳神経内科病棟が外傷センター病棟になる

大戸 実（福島県立医科大学附属病院災害医療部原子力災害医療・総合支援センター）

1-PD-1-2 当院におけるピンサイトケアの実際

藤井 葵（新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター）

1-PD-1-3 当院における創外固定装着患者の問題点

越野 美紀（堺市立総合医療センター看護局）

1-PD-1-4 手外科領域の創外固定装着患者に対する外来、病棟、手術室の取り組みと部署連携について

神田 さつき（大阪掖済会病院手外科・外傷マイクロサージャリーセンター／看護部門）

1-PD-1-5 当院における創外固定器外来の取り組みについて

西側 麻美子（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪母子医療センター）

17:15-18:15

ピンサイトケアの標準化計画

座長：大野 一幸（堺市立総合医療センター）

竹中 信之（福島県立医科大学外傷学講座・総合南東北病院外傷センター）

1-PS-1 A病棟における創外固定ピンサイトケア方法のあり方

長野 幹大（岐阜県総合医療センター看護部）

1-PS-2 Ilizarov創外固定器洗浄用ブラシにおける毛先の細菌汚染経時的検討：何日間で洗浄用ブラシに細菌が付着するのか？

杉田 淳（堺市立総合医療センター整形外科）

第2会場

9:15-10:05

一般演題 骨軟部組織再建

座長：高木 基行（福島県立医科大学外傷学講座／総合南東北病院外傷センター）

1-2-01 多発偽関節となった多発骨折の一例

篠田 凌（大垣市民病院）

- 1-2-02** 重症足関節内骨折後偽関節に対して関節温存手術を行った1例
大澤 奏 (京都府立医科大学大学院運動器機能再生外科 / 社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院)
- 1-2-03** 創外固定を用いた骨三次元移動・骨延長・軟部組織延長により
再建を行った脛骨欠損の1例
松原 秀憲 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科地域未来医療整形外科学講座 (寄附講座))
- 1-2-04** 皮弁再建を行わず創閉鎖を得たBashir法による
高齢者広範囲皮膚欠損の一例
辻本 淳 (大阪掖済会病院整形外科)
- 1-2-05** 片側股関節内旋拘縮と膝OAによる歩行障害に対しシステム付きTKAと
Fixator Assisted Platingによる一期的下腿外旋骨切りを行った1例
山崎 修司 (英志会富士整形外科病院)
- 1-2-06** 骨性制動術を用いた外反型変形性足関節症の2例
大塚 和孝 (長崎記念病院整形外科)
- 1-2-07** Windswept deformityに対し chipping corrective osteotomyと
脛骨顆部外反骨切術で変形矯正を行った1例
佐々木 源 (上尾中央総合病院整形外科)

10:10-10:55

一般演題 小児①

座長：高橋 光彦 (兵庫県立 リハビリテーション中央病院)

- 1-2-08** 観血的整復を必要とした小児上腕骨顆上骨折の治療
小田 和孝 (近森病院整形外科)
- 1-2-09** 小児大腿骨転子下骨折に対するインプラント選択の工夫
～対側大腿遠位用プレートを用いた1例～
原田 俊太郎 (秋田大学医学部附属病院)
- 1-2-10** 小児脛骨骨幹部骨折に対する牧野牽引固定法併用弾性髓内釘固定
柴田 洋 (京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学 (整形外科))
- 1-2-11** 骨脆弱症例に対する大腿骨骨接合術の一工夫
田村 太資 (大阪母子医療センターリハビリテーション科)
- 1-2-12** 濃化異骨症の繰り返す両下肢骨折に対して複数回手術を施行した
長期経過の報告
具田 陽香 (大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学)

11:00-11:45

一般演題 小児②

座長：和田 晃房（佐賀整肢学園こども発達医療センター）

- 1-2-13** Modular Rail System創外固定を用いた先天異常の重度下肢変形に対する
変形矯正、延長手術

和田 晃房（佐賀整肢学園こども発達医療センター）

- 1-2-14** 10代にイリザロフ創外固定器と髓内釘を併用し骨延長を行った4例

衣笠 真紀（兵庫県立こども病院整形外科）

- 1-2-15** 骨髓鏡視下架橋切除術、骨端抑制術と二期的骨延長で再建した
大腿骨遠位骨端線部分早期閉鎖の1例

西村 厚志（医療法人財団康生会武田病院）

- 1-2-16** 発症後4か月経過した重度安定型大腿骨頭すべり症に対して
創外固定器を用いた屈曲骨切りを行った一例

神谷 康成（あいち小児保健医療総合センター整形外科）

- 1-2-17** 小児患者における自家腓骨採取後再建：骨膜温存 + β -TCP人工骨の有用性

田中 敬祐（大阪母子医療センター）

12:40-13:40

ランチョンセミナー①

座長：高松 聖仁（淀川キリスト教病院）

共催：帝人ヘルスケア株式会社

- 1-LS-1** 重症骨粗鬆症を伴う難治性脆弱性骨折に挑む
—アバロパラチドとLIPUSによる治療戦略—

野坂 光司（秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座）

14:40-15:40

スポンサードセミナー

座長：大野 一幸（堺市立総合医療センター）

共催：Arthrex Japan合同会社

- 1-SS** なぜ、今、腓骨髓内釘を選ぶのか？：髓内固定の臨床経験と手技の要点

15:50-17:10

パネルディスカッション② 四肢再建に創外固定は不要か？

座長：竹中 信之 (福島県立医科大学外傷学講座・総合南東北病院外傷センター)

最上 敦彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院整形外科)

1-PD-2-1 小児の四肢再建に創外固定は不要か

岡 佳伸 (京都府立医科大学大学院医学研究科運動器機能再生外科学小児整形外科部門)

1-PD-2-2 外傷再建における創外固定の必要性

米津 大貴 (名古屋市立大学整形外科)

1-PD-2-3 Ilizarov法は過去の遺産か？

棚橋 宏行 (岐阜県総合医療センター整形外科)

1-PD-2-4 「四肢再建に創外固定は不要か」愛媛大学病院における創外固定の使用経験 (関節外科医師の立場から)

間島 直彦 (愛媛大学大学院医学系研究科地域医療再生学)

1-PD-2-5 四肢再建に創外固定は不要？ いいえ，“ここだけ”は必要です

渡部 欣忍 (帝京大学医学部整形外科学講座/帝京大学 医学部附属病院 外傷センター)

第3会場

9:15-10:05

一般演題 下肢①

座長：北田 真平 (兵庫県立西宮病院外傷再建センター)

1-3-18 重度糖尿病患者に生じた脛腓骨骨幹部粉碎骨折に対し脛骨遠位逆行性髓内釘と腓骨MIPOプレートを創内創外固定として用いた1例

引地 俊文 (横浜栄共済病院整形外科)

1-3-19 Hoffa骨折にPCL大腿骨付着部裂離骨折を合併した一例

大野 純生 (大阪急性期総合医療センター整形外科)

1-3-20 脛骨高原粉碎骨折に対する一時的創外固定時の当院での一工夫

松本 源一郎 (京都府立医科大学大学院運動器機能再生外科学 (整形外科))

1-3-21 足根洞アプローチによる踵骨骨折のプレート固定における三次元的整復手技

熊野 穂積 (春秋会城山病院整形外科)

1-3-22 踵骨の糖尿病性骨髓炎に対してイリザロフ創外固定を行った2症例

木宮 央暁 (北九州総合病院)

10:10-10:55

一般演題 下肢②

座長：原田 将太 (日本赤十字社長崎原爆病院)

1-3-23 足関節固定術後に生じたインプラント周囲骨折に対して

順行性髓内釘で治療した1例

相川 敬男 (富山県立中央病院整形外科)

1-3-24 初回手術時に自家骨軟骨移植を施行した脛骨天蓋骨折の2例

藤原 達司 (大阪急性期総合医療センター整形外科／四肢外傷治療センター)

1-3-25 慢性的な足部外傷後変形がある足関節脱臼骨折をイリザロフ創外固定と

スクリューを用いて治療した1例

中川 誉之 (東京都立墨東病院整形外科)

1-3-26 胫骨髓内釘を併用したリング型創外固定術の1例

—合併症を有する高齢者腓骨粉碎・脛骨遠位端骨折に対し—

岡田 祥明 (産業医科大学病院外傷再建センター)

1-3-27 抜去困難な30年留置された髓内釘を有する脛骨天蓋骨折に対し

LIFEFで治療した1例

江田 雄亮 (筑波大学附属病院整形外科 / 筑波メディカルセンター病院 整形外科)

11:00-12:10

特別セッション 足関節疾患・外傷治療に腓骨はほんまに大事か？

座長：西井 幸信 (近森病院)

大塚 和孝 (長崎記念病院)

1-SpS-1 The Lateral Key : 足関節の安定性を決定づける腓骨の解剖

松井 健太郎 (帝京大学医学部整形外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外傷センター)

1-SpS-2 足関節骨折治療における腓骨の重要性

堀江 直行 (京都府立医大大学院運動器機能再生外科 (整形外科))

1-SpS-3 变形性足関節症の治療における腓骨の重要性

原田 将太 (日本赤十字社長崎原爆病院整形外科)

1-SpS-4 足関節骨折における脛腓間損傷の取り扱いについて

西井 幸信 (近森病院整形外科)

12:40-13:40

ランチョンセミナー②

座長：最上 敦彦 (順天堂大学医学部附属静岡病院整形外科)

共催：日本ストライカーブル社

1-LS-2 創外固定から内固定へ：ステージドマネージメントの実際

上田 泰久 (埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)

15:50-17:20

**ハンズオンセミナー 実践で学ぶDamage Control Strategyと創外固定
—治療戦略に基づく初期固定ハンズオン—**

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

講師：大饗 和憲 (広島大学四肢外傷再建岳寄付講座)

神田 優秀 (岐阜大学医学部付属病院高度救命救急センター)

[2026年3月7日(土)]

第1会場

9:10-10:10

海外招請講演 Learning Limb Reconstruction Using External Fixation Techniques from ASAMI ASEAN Experts: Traumatic and Congenital Cases

座長：垣花 昌隆（獨協医科大学埼玉医療センター整形外科）

2-IL-1 Reconstruction of Congenital Limb Deformities in ASEAN region

Aik Saw (Department of Orthopaedic Surgery,
University Malaya Specialist Center, Kuala Lumpur, Malaysia)

2-IL-2 Limb Reconstruction Methods for Complicated Trauma and
Trauma Complications in the Philippines

Daniel V. Dungca (Department of Orthopaedic Surgery, Jose B. Lingad Memorial General Hospital, President of ASAMI Philippines, Pampanga, Philippines)

10:20-11:20

英語セッション①

座長：野澤 大輔（茨城県立こども病院）

2-ES-1-1 Lateral external fixation in paediatric supracondylar humerus fracture:
A case series and review on current practices

Eva Mahirah binti Zulkifli (Department of Orthopaedic Surgery,
University Malaya, Kuala Lumpur, Malaysia)

2-ES-1-2 Ilizarov Technique in the Correction of Infantile Blount's Disease

Lois Desiree Obra-Roces (University of the Philippines,
Philippine General Hospital, Manila, Philippines)

2-ES-1-3 Treatment of femoral shaft malunion –
Comparison of internal and external fixation methods.

Francis Pekdasen M. Solang (Department of Orthopaedic Surgery,
Baguio General Hospital and Medical Center, Philippines)

2-ES-1-4 Early Outcomes on the Combined Halo-Pelvic Traction and Kyphectomy
from an All-Posterior Approach for Severe Kyphotic Deformity

Patrick Leo F. Rebato (Department of Orthopedics, University of the Philippines,
Philippine General Hospital, Manila, Philippines)

2-ES-1-5 Isolating the limitations of clinical scores in detecting differences
in functional outcomes in patients with musculoskeletal oncological
procedures about the knee in comparison with motion capture and
force plate gait analysis

Abigail Tud (Musculoskeletal Tumor Service, Philippine Orthopedic Center, Philippines)

2-ES-1-6 Modern Dead Space Management: Enabling a Paradigm Shift Toward Single-Stage Reconstruction in Fracture-Related Infection.

Karolina Siwicka (Paley European Institute, Warsaw, Poland)

11:30-12:30

古墳セミナー⑤

座長：藤井 宏真 (奈良県立医科大学整形外科)

2-KS-5 小児の創外固定治療の実際

『私なりの小児・創外固定、そしてキューバー 堺 2026年春』

片岡 浩之 (関西医科大学附属病院整形外科)

13:50-14:50

古墳セミナー⑥

座長：松原 秀憲 (金沢大学地域未来医療整形外科講座)

2-KS-6 三次元シミュレーションに基づく上肢の変形矯正と機能再建

村瀬 剛 (ベルランド総合病院／大阪大学整形外科)

15:00-16:00

古墳セミナー⑦

座長：佐々木 源 (上尾中央総合病院整形外科)

2-KS-7 足の外科における創外固定を用いた治療戦略

嶋 洋明 (ベリタス病院)

16:10-17:10

パネルディスカッション③ 次世代に創外固定の面白さを伝えて行くためには何が必要か？

座長：竹中 信之 (福島県立医科大学外傷学講座・総合南東北病院外傷センター)

落合 達宏 (宮城県立こども病院)

2-PD-3-1 次世代に伝える指用イリザロフ創外固定の臨床価値

八木 寛久 (大阪掖済会病院手外科・外傷マイクロサージャリーセンター)

2-PD-3-2 創外固定の魅力を次世代に伝えるために

結城 拓也 (福島県立医科大学外傷学講座・総合南東北病院外傷センター)

2-PD-3-3 次世代に創外固定の面白さを伝えていくためには何が必要か？

原田 将太 (日本赤十字社長崎原爆病院整形外科)

2-PD-3-4 私が創外固定治療をはじめたきっかけ

尾藤 博信 (聖隸三方原病院四肢外傷治療科)

2-PD-3-5 次世代に創外固定の面白さを伝えていくために何が必要か
—出生率低下とともに小児創外固定はそのまま消滅するのか—
田村 太資 (大阪母子医療センターリハビリテーション科)

2-PD-3-6 堺市立総合医療センターと ASAMI Philippinesとの間で行っている
研修プログラムについて
杉田 淳 (堺市立総合医療センター整形外科)

17:10-

閉会式

第2会場

9:10-10:10

中瀬尚長先生メモリアルセミナー

座長：柏木 直也 (水野記念病院整形外科)

2-ML BMPのこれまでとこれから—中瀬尚長先生の情熱を受け継ぐ—
新倉 隆宏 (兵庫県立西宮病院整形外科・外傷再建センター)

10:20-11:20

古墳セミナー④

座長：石橋 恭之 (弘前大学大学院医学研究科整形外科)

2-KS-4 間葉系幹細胞を用いた関節再生医療

下村 和範 (関西福祉科学大学保健医療学部/
大阪大学大学院 医学系研究科 器官制御外科学(整形外科))

11:30-12:15

一般演題 高エネルギー外傷

座長：前川 尚宣 (奈良県立医科大学整形外科)

2-2-01 IVR後に早期骨盤創外固定を行い治療戦略を決定したVC型骨盤骨折の一例
川本 匡規 (堺市立総合医療センター)

2-2-02 Closs Limb Vascular Shuntにより救肢し得た
骨盤骨折合併外傷性外腸骨動脈解離の1例

佐藤 俊介 (福島県立医科大学医学部整形外科学講座 / 福島県立医科大学医学部外傷再建学講座)

2-2-03 開放性胫骨複合骨折に対しリング式創外固定器を用いて治療した一例
奥村 聰志 (名古屋市立大学病院)

2-2-04 高エネルギー Lisfranc 関節損傷の治療法～ Ilizarov 創外固定併用法～

野坂 光司 (秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座 / 秋田イリザロフ法グループ)

2-2-05 デグロビング損傷を伴うショパール関節開放性脱臼骨折に対する足部温存の1例

高橋 翼 (埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター)

12:40-13:40

ランチョンセミナー③

座長：野坂 光司 (秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座)

共催：スミス・アンド・ネフューブル社

2-LS-3 基礎から応用へ：脛骨髓内釘固定を極める

前川 尚宣 (奈良県立医科大学整形外科 四肢外傷センター)

13:50-14:35

一般演題 变形矯正・骨延長

座長：岡 佳伸 (京都府立医科大学運動器機能再生外科学小児整形外科学部門)

2-2-06 先端異骨症 (acrodysostosis) における中手骨、

中足骨仮骨延長術の治療経験

戸祭 正喜 (済生会兵庫県病院整形外科)

2-2-07 化膿性股関節炎後遺残変形に対する一期的骨延長を併用した大腿骨骨切り術の1例

栗津 敏貴 (京都府立医科大学運動器機能再生外科学)

2-2-08 先天性脛骨欠損症 jones 分類type4 (遠位脛腓間離開) の治療経験

津田 貴史 (愛媛県立今治病院)

2-2-09 軟骨無形成症の骨延長後に持続する左下肢痛に対し

創外固定を用いた大腿骨矯正骨切り術により症状改善を得た1例

田山 義樹 (獨協医科大学埼玉医療センター整形外科)

2-2-10 当院における最近の脚延長治療実績

宗圓 充 (滋賀県立総合病院)

英語セッション②

座長：樋口 周久 (大阪府立母子医療センター)
新倉 隆宏 (兵庫県立西宮病院整形外科・外傷再建センター)

- 2-ES-2-1** A Case of Diabetic Charcot Ankle Arthropathy Treated with Tibiocalcaneal Arthrodesis Using a Circular External Fixator
西 秀樹 (堺市立総合医療センター整形外科)

- 2-ES-2-2** Unilateral Recurrence of Pediatric Post-Burn Equinus Contracture: A Within-Patient Comparison Using Ilizarov Fixation
石原 典子 (長野赤十字病院整形外科 / 名古屋大学大学院医学部医学研究科 手の外科)

- 2-ES-2-3** A case of soft tissue reconstruction using a free anterolateral thigh flap for an open dislocated ankle fracture
田中 達也 (聖隸三方原病院整形外科)

- 2-ES-2-4** Composite Allograft Tumor Prosthesis Reconstruction for Short Proximal Femoral Remnants After Distal Femoral Tumor Resection
増永 智哉 (奈良医大整形外科)

- 2-ES-2-5** Locking Plate vs External Fixation for Unstable PIP Joint Fractures
安井 行彦 (JCHO星ヶ丘医療センター整形外科)

- 2-ES-2-6** A New Strategy for Congenital Pseudarthrosis of the Tibia: Prevention of Refracture by Conversion from External Fixation to Locking Plate Fixation
松原 秀憲 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科地域未来医療整形外科学講座(寄附講座) / 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科・整形外科学講座)

- 2-ES-2-7** Severely Deformed Malunion of Clavicle Treated With Computer-Assisted 3-D Preoperative Planning and the Masquelet Technique: A Case Report.
藤原 達司 (大阪急性期総合医療センター整形外科／四肢外傷治療センター)

- 2-ES-2-8** Virtual Osteotomy and 3D-Printed Models Facilitate Deformity Correction Using External Fixator
大庭 真俊 (神奈川県立こども医療センター整形外科 / 横浜市立大学大学院医学研究科運動器病態学教室 (整形学科))

- 2-ES-2-9** Flap Followed by External Fixation: A Hybrid Strategy for Severe Lower Extremity Trauma with Bone Loss and Deformity
工藤 俊哉 (新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター)

第3会場

9:10-10:20

特別セッション 小児変形矯正の現在地

座長：江口 佳孝（国立成育医療研究センター）

田村 太資（大阪母子医療センター）

2-SpS-1 小児変形矯正におけるguided growthの治療経験

犬飼 友哉（千葉県こども病院）

2-SpS-2 小児変形矯正の現在地～矯正骨切での治療～

小林 雅人（大阪母子医療センターリハビリテーション科）

2-SpS-3 当院における小児患者に対する単支柱型創外固定器の治療経験

石川 千夏（福岡市立こども病院）

2-SpS-4 リング型創外固定器を使用する下肢矯正手術の適応症例と手術の種類

拓桃医療療育センター及び当院での治療実績調査

小松 繁允（宮城県立こども病院）

10:25-11:10

一般演題 コメディカル①

座長：三田 基樹（埼玉医科大学総合医療センター）

2-3-11 Galaxy創外固定器を使用した肘関節授動術後のリハビリテーションにおける工夫

内屋 純（岐阜県総合医療センター中央リハビリテーション部）

2-3-12 長期間の免荷で重度の骨萎縮を呈し、荷重歩行に難渋した症例

水元 剛（新百合ヶ丘総合病院診療技術部リハビリテーション科）

2-3-13 イリザロフ創外固定による下腿変形矯正後、創外固定除去後も下肢アライメント修正を要した一症例

馬淵 博之（堺市立総合医療センターリハビリテーション技術科）

2-3-14 当院における遠位脛骨斜め骨切り術後に対する足底装具の有用性

渡邊 基起（秋田大学医学部附属病院リハビリテーション科）

2-3-15 Philippine General HospitalでのIlizarov法 Observership Programに参加して

村田 竜馬（堺市立総合医療センター看護局）

11:15-11:50

一般演題 コメディカル②

座長：棚橋 宏行 (岐阜県総合医療センター)

- 2-3-16** 外傷再建センターの病棟看護師が抱く創外固定患者の看護に対する不安に関するアンケート調査

渡辺 伸子 (新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター)

- 2-3-17** 創外固定器管理の指導に独自のパンフレットを活用した一例

都築 ひかる (地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立小児総合医療センター)

- 2-3-18** Ilizarov創外固定器装着患者へのセルフケア指導の現状手技獲得への指導の質向上を目指して

小松 佳裕 (堺市立総合医療センター看護局)

- 2-3-19** 腹部開放管理と創外固定中の患者の体位の工夫

— BMIが高い患者への体位ドレナージと安全な創傷管理 —

中川 千佳 (地方独立行政法人堺市立病院機構堺市立総合医療センター看護局救命救急病棟)

12:40-13:40

ランチョンセミナー④

座長：川端 碩 (大阪ろうさい病院手外科)

共催：第一三共株式会社

- 2-LS-4** 上肢の機能再建と神経障害性疼痛治療

岡田 充弘 (馬場記念病院整形外科)

13:50-14:40

一般演題 感染

座長：山崎 修司 (英志会富士整形外科病院)

- 2-3-20** Masquelet法による感染性偽関節・慢性骨髓炎の治療経験

平井 一人 (川崎医科大学運動器外傷・スポーツ整形外科学)

- 2-3-21** 小児前腕骨慢性骨髓炎に対して Bone transport over the plate を行った1例

豊永 真人 (新百合ヶ丘総合病院外傷再建センター)

- 2-3-22** 高度耐性菌 (MDRP・CRE) 感染による骨髓炎を併発した下腿続創開放骨折に対する集学的治療による救肢経験

佐野 善智 (新百合ヶ丘総合病院)

- 2-3-23** Intermittent Local Antibiotic Perfusion (ILAP) を用いた治療法

岡田 博 (総合病院聖隸三方原病院)

- 2-3-24** イリザロフ創外固定のpin site infectionによる下腿皮膚潰瘍に対してCLAPと段階的縫縮によって感染沈静化と上皮化を達成した一例
大屋 敬太 (市立横手病院)

- 2-3-25** Pilon骨折術後の皮膚潰瘍を伴う感染性偽関節に対しCLAPとIlizarov創外固定器、炭酸ガス経皮吸收療法を併用して治療した1例
飯山 俊成 (北九州総合病院)

- 2-3-26** 強い瘢痕は骨延長阻害因子となり得る
加藤 成隆 (福島県立医科大学外傷学講座／総合南東北病院外傷センター)

14:50-15:40

一般演題 上肢①

座長：五谷 寛之 (大阪掖済会病院手外科外傷マイクロサージャリーセンター)

- 2-3-27** 逆行性指動脈皮弁術後の指節間関節可動域
佐々木 康介 (大阪掖済会病院手外科・外傷マイクロサージャリーセンター)

- 2-3-28** 術中CTを併用し大腿内側からの血管柄付き遊離骨軟骨移植を施行したPreiser病の1例
横田 淳司 (大阪医科大学医学部整形外科)

- 2-3-29** 手指PIP関節脱臼骨折に対する創外固定を用いた治療
五谷 寛之 (大阪掖済会病院整形外科／手外科・外傷マイクロサージャリーセンター / 静岡理工科大学手外科微小外科先端医工学)

- 2-3-30** 手指PIP関節脱臼骨折後再転位・長期経過変形治癒に対してdynamic external fixationを用いて治療した1例。
高橋 光彦 (兵庫県立リハビリテーション中央病院)

- 2-3-31** 手指DIP関節周囲の感染症に対する創外固定の併用
大谷 和裕 (近畿大学医学部整形外科 / 近畿大学病院 運動器外傷センター)

- 2-3-32** 横骨遠位端骨折に対する一時的創外固定の実際
尾藤 博信 (聖隸三方原病院四肢外傷治療科)

15:50-16:25

一般演題 上肢②

座長：程原 誠 (東京都立広尾病院整形外科)

- 2-3-33** ヒンジ付き肘創外固定PIN切断時に生じた上腕骨骨折の1例
羽木 弘和 (国立病院機構埼玉病院整形外科)

2-3-34 高齢者のSide-swipe injuryに対して一期的人工肘関節置換術および軟部組織再建を行った1例

亀山 貞 (堺市立総合医療センター整形外科)

2-3-35 掌側転位型橈骨遠位端骨折に対する一時的創外固定の適応

土井 武 (岡山済生会総合病院整形外科)

2-3-36 肘頭先端を用いて肘関節前方再建を行った、

鈎状突起粉碎骨折を伴う経肘頭脱臼骨折の1例

北田 真平 (兵庫県立西宮病院外傷再建センター)